

4.9 日照障害

施設の存在に伴う日影の影響を把握するために、日影の状況、新病院の状況、環境の保全のための措置の実施状況の調査を実施した。

4.9.1 施設の存在に伴う日影の影響

1) 調査項目

- (1) 日影の状況
- (2) 新病院の状況
- (3) 環境の保全のための措置の実施状況

2) 調査地点・地域

日影の状況の調査地点は、図 4.9-1 に示すとおり、西側住宅地（St.1）・北側農地（St.2）の2地点及び新病院建物上から西側の眺望範囲とした。

また、新病院の状況及び環境の保全のための措置の実施状況の調査地域は、計画地内とした。

3) 調査期間

日影の状況の調査期間は、表 4.9-1 に示すとおり、令和6年12月12日（木）及び12月20日（金）とした。

表 4.9-1 調査期間

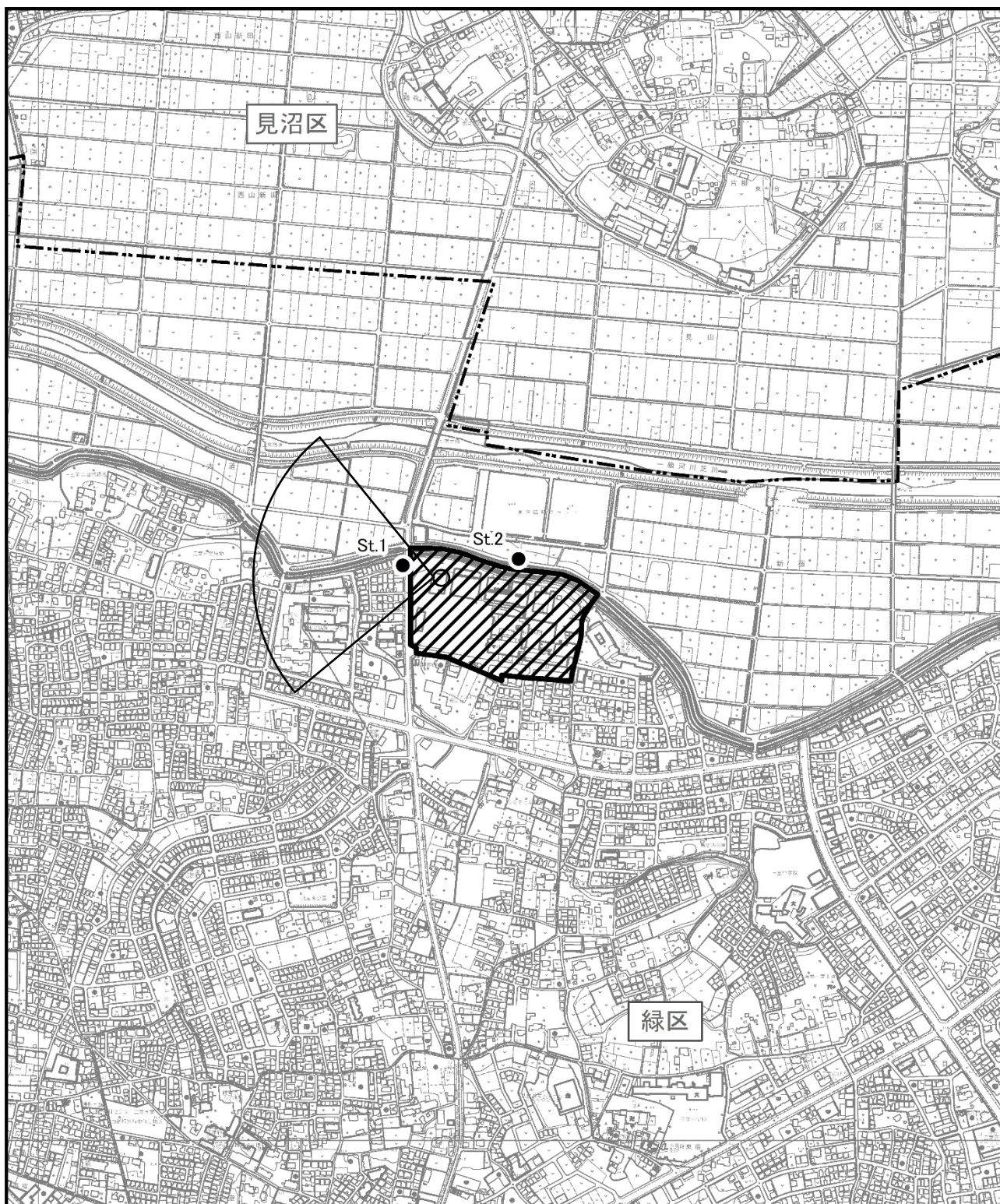
調査項目	調査期間
日影の状況	令和6年12月12日（木）、12月20日（金）
新病院の状況	供用開始後、適宜実施した。
環境の保全のための措置の実施状況	

4) 調査方法

調査方法は、表 4.9-2 に示すとおりである。

表 4.9-2 調査方法

調査項目	調査方法
日影の状況	現地調査（目視確認及び天空写真の撮影、新病院建物上からの写真撮影）による方法とした。
新病院の状況	写真撮影等による現地確認及び関係資料の整理による方法とした。
環境の保全のための措置の実施状況	



凡 例



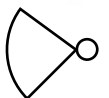
計画地



市区町村界



天空写真撮影地点



調査地点(写真撮影地点・撮影方向)

1:10,000

0 200 400 m



図 4.9-1 日影の状況の調査地点

5) 調査結果

(1) 日影の状況

日影の状況は、図 4.9-2～図 4.9-5 に示すとおりである。

a) 供用後の状況と予測結果の比較

図 4.9-2 は、評価書において予測された冬至日の新病院建物による日影（時刻別日影図）と、令和 6 年 12 月 20 日に調査した供用後の日影状況を比較した図である。

ここでは、新病院建物の影が、保全対象施設である住宅地に対し、最も広範囲に及ぶと予測された午前 8 時を対象に比較を行った。また、調査において確認した実際の影は、他の建物・地形などの影響も受ける場所が多いため、新病院建物の影響が明確に確認できる図中の赤い線を、予測結果の日影境界線として、予測と実際との比較対象とした。

図 4.9-2 の上の写真は、該当時時刻の日影状況に、予測結果の日影境界線を追記したものであるが、予測と実際の状況がほぼ一致していることが確認できた。

b) 予測日影図と供用後の建物による日影図の比較

図 4.9-3 は、供用後の新病院の形状を基に作成した日影図と、評価書における予測時の日影図を比較したものである。

後述の「(2) 新病院の状況」にも示すとおり、完成した新病院の配置・高さ・形状は計画どおりとなっていることから、供用後の新病院の形状を基に作成した日影図と評価書における予測日影図は一致していた。

c) 代表地点における予測結果との比較

図 4.9-4 及び図 4.9-5 は、それぞれ St.1（西側住宅地）、St.2（北側農地）の代表地点における天空写真を基に、評価書における予測結果と事後調査結果を比較したものである。

予測結果に比べると、St.1 は、事後調査結果において新病院の建物がやや高く写る結果となっているが、日当たりに影響する南に開けた状況は変わっていない。また、冬至日前後の日影状況が、「a) 供用後の状況と予測結果の比較」に示したとおり、St.1 を含む西側住宅地に対して予測と供用後で一致していることも踏まえると、西側住宅地での影響程度は評価書において想定されたものと概ね一致すると考えられる。

St.2 に関しては、事後調査結果、予測結果ともに新病院の建物は北側斜面林の背後となり、建物による直接的な日影の影響は生じないことが確認できる。

これら上記のいずれの比較においても、供用後の現状と予測結果とは、概ね一致する結果となった。特に、「建築基準法」及び「埼玉県建築基準法施工条例」に基づく日影規制との整合を確認する対象である日影図が、予測結果と供用後の結果とで一致している（図 4.9-3 参照）ことを踏まえると、事前の予測・評価結果のとおり、施設の存在に伴う日影の影響は、事業者により実行可能な範囲でできる限り低減が図られており、周辺環境に著しい影響を及ぼしていないものとする。

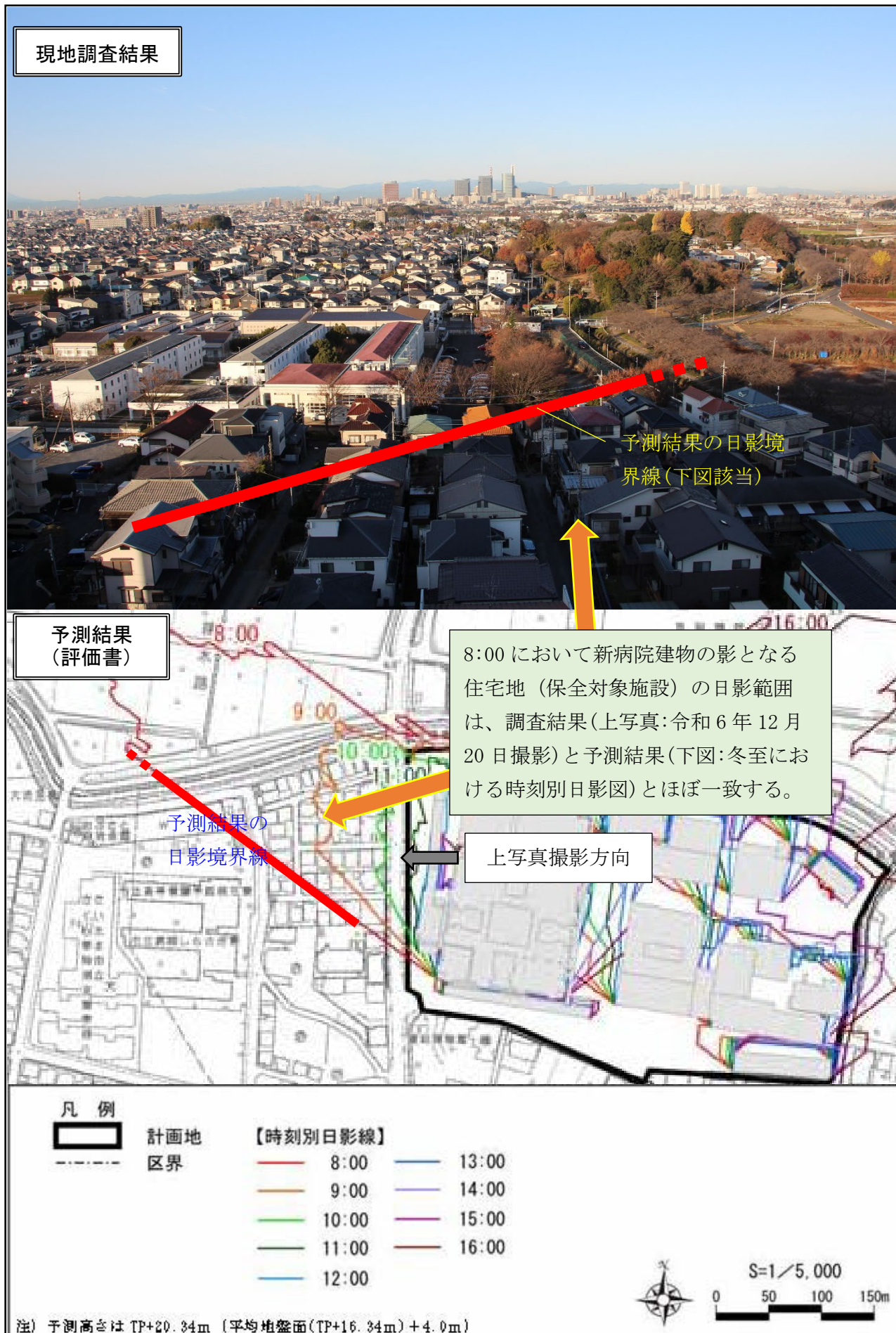


図 4.9-2 現地調査と予測結果における冬至の日影状況比較

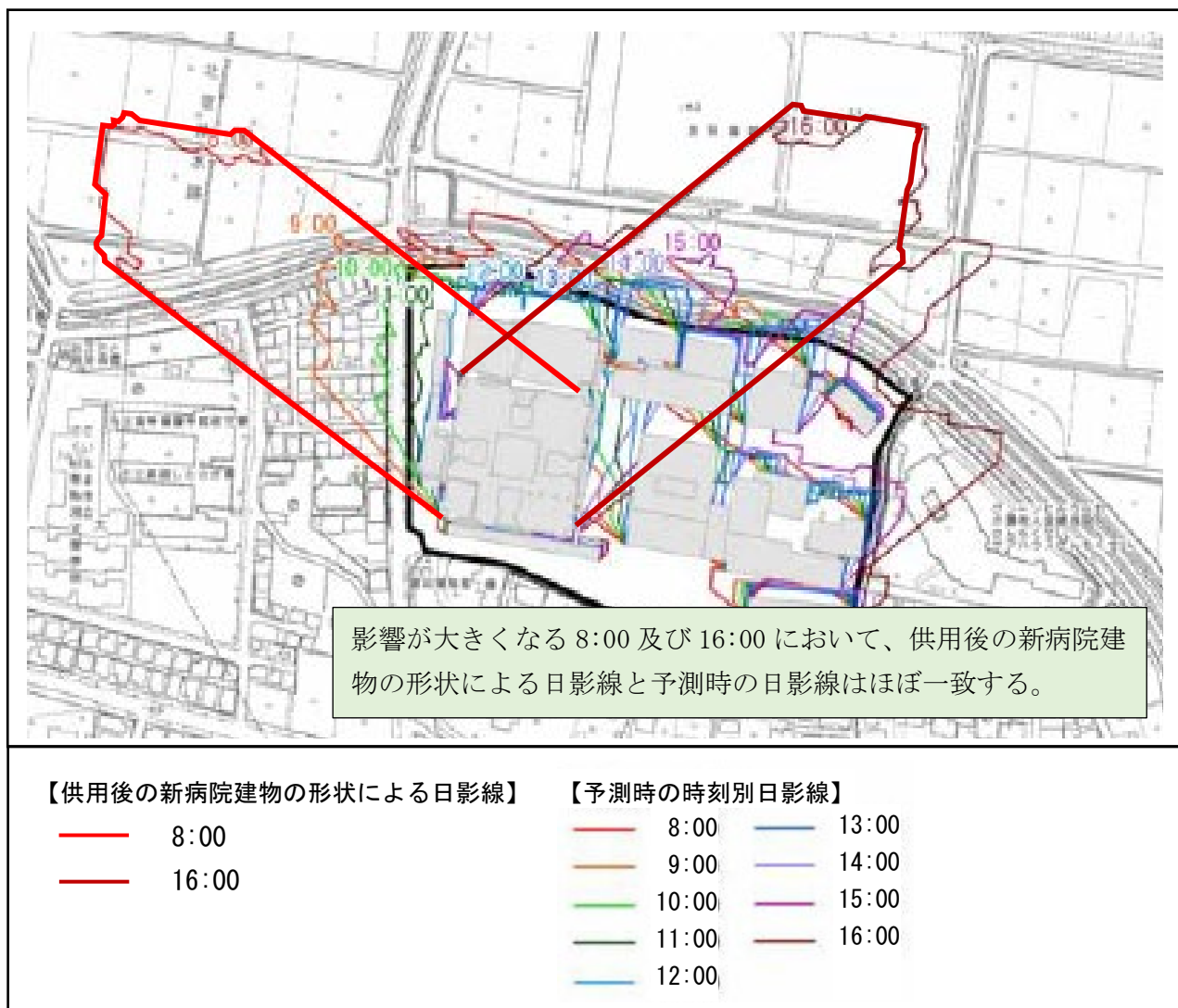


図 4.9-3 供用後の新病院建物の形状による日影図と予測時の日影図の比較

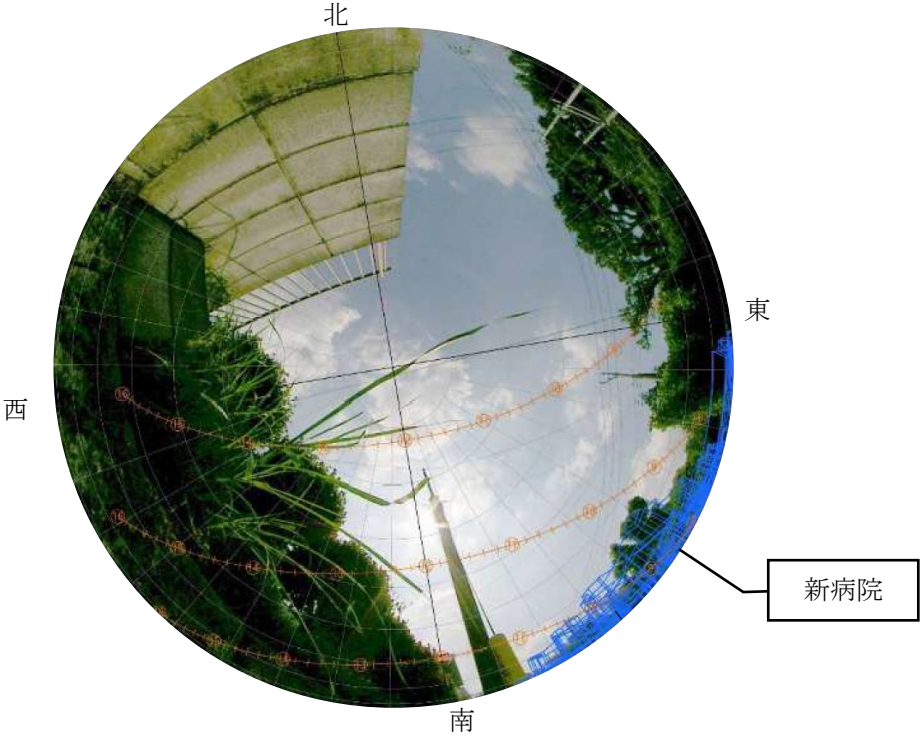
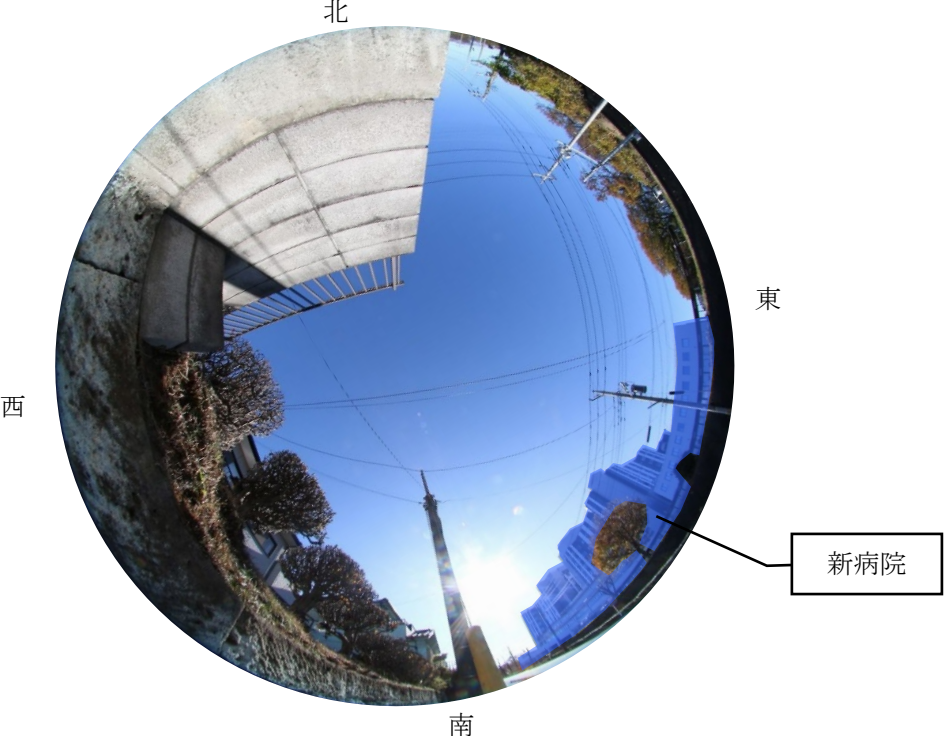
予測結果	
事後調査結果	

図 4.9-4 日影の状況 (St. 1)

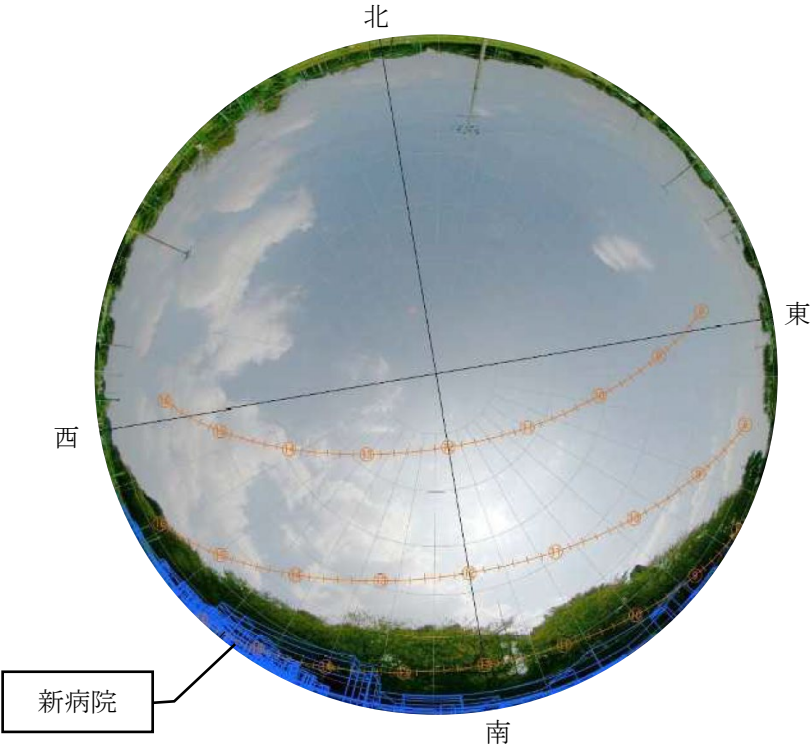
予測結果	
事後調査結果	 ※病院は斜面林に遮られ、視認できない。

図 4.9-5 日影の状況 (St. 2)

(2) 新病院の状況（配置、高さ、形状等）

対象事業の実施状況に関しては、完成した新病院の配置・高さ・形状が計画どおりとなっており（第2章 2.6 参照）、予測時の条件と変更がないことが確認された。

(3) 環境の保全のための措置の実施状況

供用開始後における環境の保全のための措置の実施状況については、表 4.9-3 に示すとおりである。

表 4.9-3 供用開始後における環境保全のための措置の実施状況

影響	検討の視点	評価書に記載した環境の保全のための措置	環境の保全のための措置の実施状況
日影の発生	日影面積の低減	・日影の影響に配慮した建物配置、形状等とする。	・日影の影響に配慮した建物配置、形状等とした。完成した新病院の配置、高さ、形状は計画どおりであり、予測時の条件と変更がない（図 4.9-6）。 ・資料 1 は、建築の概要。

資料 1：建築の概要

項目	さいたま市立病院		
敷地面積	48,789.03m ²		
延床面積	54,238.83m ²		
建築物最高高さ	44.85m		
建築物用途	病院		
構造	病院本館 (50,186.57m ²)	S+CFT 造 一部 SRC 造	地上 10 階 免震構造
	別館 (3,287.42m ²)	RC 造	地上 3 階地下 1 階 PH1 階 耐震構造
	スロープ棟 (764.84m ²)	RC+S 造	地上 2 階 耐震構造

※完成した新病院の配置、高さ、形状は計画どおりであり、予測時の条件と変更がない。

図 4.9-6 供用開始後における環境の保全のための措置の実施状況写真・資料等

6) 予測・評価結果と事後調査結果の比較及びその考察

予測・評価結果と事後調査の比較は、図 4.9-4～図 4.9-5 に示すとおりである。

計画建築物の配置、高さ、形状等に大きな変更がないことから、事後調査結果は予測結果と概ね一致する結果となった。

また、計画した環境の保全のための措置は実施していることから、施設の存在に伴う日影の影響は、事業者により実行可能な範囲でできる限り低減が図られたと評価する。